

1 令和7年度 献血の概要

(1) 献血者数及び献血量

令和7年度献血者数：28,002人（対前年比：101.1%、献血率：全国平均を上回っている）

うち200mL献血者：223人（対前年度比：106.2%、構成比：0.8%）

400mL献血者：18,769人（対前年度比：99.1%、構成比：67.0%）

成分献血者：9,010人（対前年度比：105.2%、構成比：32.2%）

令和7年度献血量：12,901リットル（対前年度比101.1%）

(2) 性別・年代別献血状況

○献血者の性別構成割合：男性19,436人（69.4%）、女性8,566人（30.6%）

年代別構成割合：16-19歳代：718人（2.5%） 40-49歳代：6,636人（23.7%）

20-29歳代：3,628人（13.0%） 50-69歳代：12,907人（46.1%）

30-39歳代：4,113人（14.7%）

○若年層の献血状況

献血者数割合（10-30代）：40.9%（H28）→30.2%（R7）

献血者数（10-30代）：12,144人（H28）→8,459人（R7） 約3割減（▲30.3%）

(3) 職業別献血状況

職業別献血者数：会社員：13,388人（47.8%）

公務員：5,718人（20.4%）

学生（高校生を除く）：1,352人（4.8%）

高校生：168人（0.6%）

その他：7,376人（26.4%）

(4) 場所別献血状況

献血ルーム利用者：14,345人（51.2%）、献血バス利用者：13,657人（48.8%）

(5) 献血ができなかった人数及び検査不合格血液の状況

献血申込者30,341人のうち、献血ができなかった人数：2,339人（申込者の7.7%）

理由：血液の比重不足：990人（申込者の3.3%）、その他：1,349人（申込者の4.4%）

2 令和8年度献血目標量等

県内の医療機関への近年の輸血用血液製剤供給の動向や、血漿分画製剤を国内自給するために必要な原料血漿として毎年度国から本県に割り当てられる量（令和8年度割当量：8,436L）などに基づき、高知県赤十字血液センターと協議のうえ、令和8年度の献血により確保すべき血液の目標量及び献血者の目標者数を次のとおりとする。

令和8年度 献血目標量：12,665L、献血目標者数：27,909人

3 広報活動

献血の重要性、必要性について広く県民の皆様にご理解とご協力をいただくため、市町村や高知県赤十字血液センターなどの関係団体と連携し、各種キャンペーンの開催や広報等により、献血に関する知識の普及と啓発に努めている。

【県の献血イベント】

・はたちの献血キャンペーン 1/1～2/28

（令和8年度：例年同様、イオンモール高知でイベント開催予定）